

◆2013年度予算案の考え方について

1. 予算案についての基本的考え方

(1) 寄付金の取扱いについて

2012年度決算の見込みについては、一般正味財産増減の部で134万7,939円、指定正味財産の部で300万円、合わせて434万7,939円の残高となっています。2012年当初予算案では、一般財団法人神奈川県地域労働文化事業団（2013年3月から一般財団法人へ移行予定）より1,000万円の寄付の予定でしたが、2013年2月に700万円の寄付がありました。これについては、当初予算案では、一般正味財産に計上していましたが、同財団の意向によりまして全額公益目的事業に充てることとし、指定正味財産に全額計上しました。

2013年度についても、同財団から1,000万円の寄付の申し出がありますが、2012年度と同様に全額公益目的事業に充てることが求められています。従って、2013年度の寄付金についても全額指定正味財産増減の部に計上します。

(2) 2013年度予算について

I 一般正味財産増減の部

経常収益計	2,494万9,000円
経常費用計	2,578万5,000円
当期増減	-83万6,000円
当期期首残高	134万7,939円
当期期末残高	51万1,939円 (A)

一般正味財産増減の部については、1. 経常増減の部 (1) (1) 経常収益計2,494万9,000円、(2) 経常費用計2,578万5,000円で、当期の経常増減額は、-83万6,000円となります。2013年度の期首残高134万7,939円と合わせて2013年度の期末残高は、51万1,939円となります。

II. 指定正味財産増減の部

受取寄付金	1,000万円
一般正味財産への振替	1,200万円
当期増減	-200万円
当期期首残高	300万円
当期期末残高	100万円 (B)

指定正味財産については、①受取寄付1,000万円、②一般正味財産への振替額は、当期期首残高（前年度残高）300万円のうち200万円と合わせて1,200

万円とします。その結果、指定正味財産の期末残高は、100万円となります。

Ⅲ. 正味財産の期末残高は、151万1,939円(A+B)となります。

なお、2012年度決算額が確定し、修正の必要がある場合には、6月総会において補正いたします。

2. 一般正味財産増減の部について

(1) 経常収益については、①会費収入は、正会員、賛助会員あわせて1,240万余円(2012年度とほぼ同額)、②受託研究等事業収益10万円、③受取助成金40万円(一般財団法人自治労会館)④受取寄付金のうち「指定正味財産からの振替」1,200万円等で合計2,494万余円となります。

(2) 経常費用については、①事業費は、当センターの調査・研究事業費用で、内訳は、調査・研究費(研究員給与+研究会費+研究委託費等)1,120万円、通信運搬費20万円、図書費(月刊自治研購読料+研究図書購入費)300万円、印刷製本費(自治研かながわ月報印刷代+研究報告書印刷代等)200万円、雑費等で合計1,640万余円となります。②管理費は、給料手当(事務局員給与等)350万円、賃借料(部屋代、管理費等)395万円、消耗品費54万円等々で合わせて938万余円となります。

(3) 当期経常増減額は、83万6,000円の減で、当期の期首残高(2012年度末の残高)134万7,939円と合わせて期末残高は51万1,939円となります。

3. 指定正味財産増減の部

指定正味財産は、一般財団法人神奈川県地域労働文化事業団からの寄付金1,000万円(①受取寄付金)で、②一般正味財産へ1,200万円を振り替えます。その結果、2013年度の増減額は、200万円の減となりますが、2013年度期首残高(2012年度末残高)300万円と合わせて期末残高は100万円となります。この残高は、2014年度公益事業に全額充てます。